

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

(2023年6月1日～2024年5月31日)

1. 組織の概要	P. 2
2. 対象範囲	P. 2
3. 環境経営方針	P. 3
4. 環境経営実施体制	P. 4
5. 環境経営目標	P. 5
6. 活動計画と取組結果とその評価、実績	P. 6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P. 7
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 7
9. 次年度の取組	P. 7

2025年1月14日発行

株式会社トライネット

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社トライネット
代表取締役 増田 哲男

(2) 所在地

本社 東京都大田区北糀谷2-3-1
倉庫 東京都大田区中央2-23-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者氏名 大石 明
電話 03-6432-7370
FAX 6423-7371
e-mail ooishi@trynetltd.com

(4) 事業活動の内容

本社: 通信資材の製造及び販売
倉庫: 製品・材料の保管

(5) 事業の規模

通信資材販売高: 55,200万円(2024年)

項目	本社	倉庫
従業員数(人)	12人	—
延床面積(m ²)	495	86.4

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社及び倉庫

(2) 認証・登録対象活動

本社及び倉庫で行う事業活動(通信資材の製造及び販売)業務

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

基本理念

当社は、通信工事資材の製造・販売の特性を維持しつつ環境保全に配慮し、お客様、地域社会の環境循環型社会に貢献している企業です。

また、お客様とは通信工事資材の特性、設置現場を確認しあい、要求事項を満たすことにより、最適なパートナーとして関係を大切にしていきます。

そして、工場の整理整頓に心掛け、社員が楽しく働け、皆様から愛される会社にし、地球と子供たちの未来のために役立てる企業活動をしていきます。

基本指針

- 1 当社は、関連する環境法規及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、お客様にとって安心して使用できる通信工事資材を供給することに専念するとともに、環境経営の継続的改善に取り組むことを誓約します。
- 2 当社は、次にあげる事項を重要テーマとして、環境目標を設定し、見直しの仕組みを設け、全社員とともに、元気にこの達成に取り組みます。
 - 1) 当社は、地球環境にとってかけがえのない資源の節約に積極的に取り組み循環型社会への貢献を目指し、通信工事資材の製造・販売の拡大に取り組みます。
 - 2) 事業所で発生する廃棄物と二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - 3) 事業所で使用する水と化学物質の削減に取り組みます。
 - 4) 事業活動の効率化を図り、電力使用量の削減に取り組みます。
 - 5) 事業用品等のグリーン購入を積極意的に行います。
 - 6) お客様に環境保全に配慮した技術提案、品質管理及び、活動を展開することによって当社製品の品質向上及び、コスト削減に取り組みます。
- 3 当社は、環境経営システムと品質管理の有効性に継続的に取り組みます。
- 4 当社は、この方針を全社員及び関連企業に周知すると共に、社外にも公表します。

制定日：2011年6月28日

改定日：2020年1月1日

株式会社トライネット

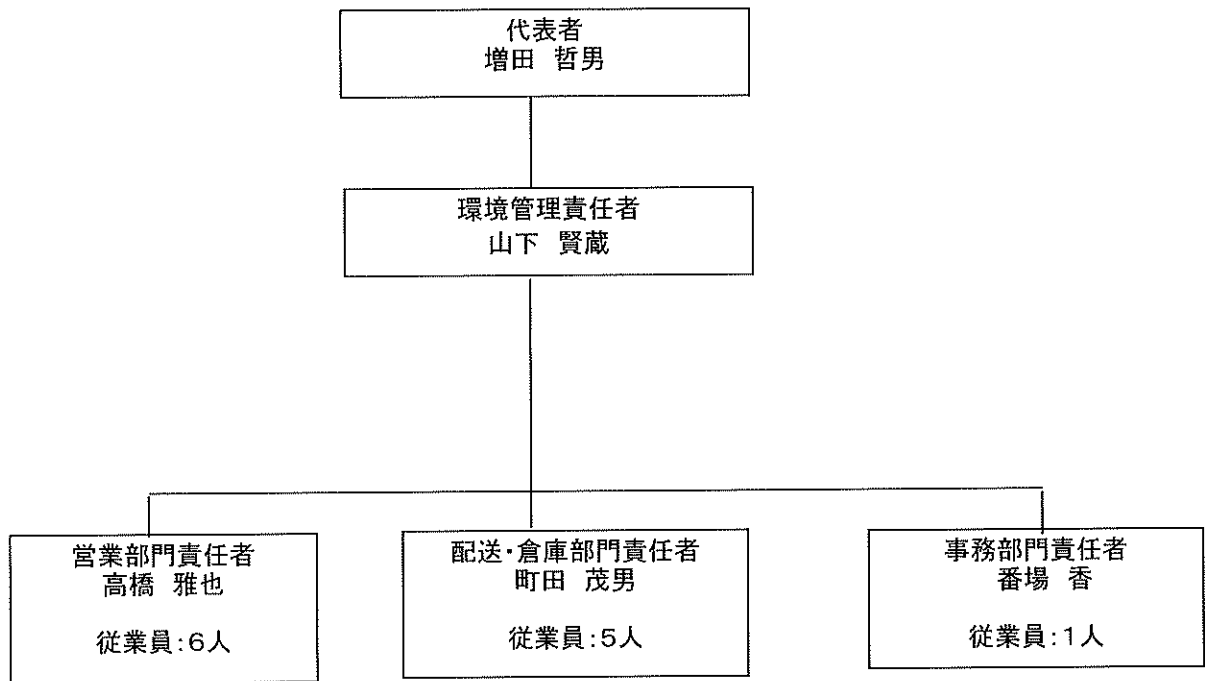
代表取締役 増田 哲男

4. 環境経営実施体制

環境管理実施体制表

作成 2023/10/18

承認	作成
増田	山下



役職	責任および権限
代表者	- 環境管理責任者の任命 - 環境方針の制定 - 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 - 環境経営システムの定期的見直しの実施 - 社内情報の外部公開可否決
環境管理責任者	- 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 - 社長への環境経営システムの実施状況報告 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境目標、環境活動計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	- 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	- 環境経営方針・目標に従って活動を実践する。 - 環境活動への意見・提案

5. 環境経営目標

活動年度:6月～翌年5月

環境方針項目		基準値	2022年度	今期目標 2023年度	2024年度
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量削減 単位:kWh	17,370	15,025	14,938	14,938
		2009年実績	13.5%減	14%減	14%減
	ガソリン 使用量の削減 単位:L	2,158	1,780	1,770	1,770
		2009年実績	18%減	18%減	18%減
	軽油 使用量の削減 単位:L	10,729	8,798	8,798	8,798
		2009年実績	18%減	18%減	18%減
	都市ガス 使用量の削減 単位:NmL	48.0	39.4	39.4	39.4
		2009年実績	18%減	18%減	18%減
廃棄物排出量	灯油 使用量の削減 単位:L	462	379	379	379
		2009年実績	18%減	18%減	18%減
	計(kg-CO2)	42,557	35,284	35,284	35,284
		2009年実績	18%減	18%減	18%減
水使用量の削減(維持)	原単位CO2排出量 kg-CO2/売上高百万円	111.6	92.5	92.4	92.4
	一般廃棄物の削減 単位:L	10,500	8,715	8,715	8,715
		2009年実績	17%減	17%減	17%減
	産業廃棄物 単位:kg	3,370	記録管理	記録管理	記録管理
化学物質使用量の削減(管理)		2019年実績			
	紙使用量の削減 複合機カウンタ数	106,846	104,709	104,175	104,175
グリーン購入		2020年実績	2%減	2.5%減	2.5%減
	原単位用紙使用量 枚/売上高百万円	199.5	195.5	194.5	194.5
水使用量の削減(維持) 単位:m ³		61	59.8	59.8	59.8
		2020年実績	維持管理	維持管理	維持管理
化学物質使用量の削減(管理) 単位:kg		8.4	7.6	7.6	7.6
		2010年実績	10%減	10%減	10%減
グリーン購入		218.5	229.4	229.4	229.4
		千円/年	5%増	5%増	5%増
製品及び サービス	通信資材 販売高の拡大	38,160	41,976	45,000	45,000
		万円/年	10%増	年間目標	年間目標
	出荷ミス・クレーム の撲滅	年間20件以下	年間20件以下	年間20件以下	年間20件以下
※毎月の定例会の際に、各項目の管理担当から数値に対する意見を聞き、従業員の環境意識の向上を行います。					
各営業担当より、仕事内容の課題・報告の場を設け、更なる売り上げ・サービスの向上を目指します。					

※購入電力の排出係数:0.496(東京電力 H26年度実排出係数)

6. 環境活動計画と取組結果(実績)とその評価

環境方針 項目		環境活動計画 (取組内容)	取組結果とその評価(2023年6月～2024年5月)			
			目標値	実績値	達成評価	コメント
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	不要照明の消灯	14,938	15,872	×	目標値、原単位ともに達成できませんでした。 メイン使用がエアコンの為、 毎年の気候に左右されるものと感じる。
		エアコンの温度管理	kWh	kWh		
		省エネ器具への切り替え	7,409	7,873		
	化石燃料の削減	車両の定期的な点検	ガソリン		○	軽油が目標値を達成できなかったが、前年同様に原単位はクリアできた。 これからも効率を考えた配送ルート を組んで業務にあたる。
			1,770	663		
		エコドライブ	軽油		×	
		効率の良い配送ルート	8,798	8,881		
		給湯器の使用	都市ガス		○	
			39	6		
	使用中止	灯油		○		
		381	0			
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		35,284	32,337	○	原単位が前年値と同じでした。 良い取り組みが出来ている。
原単位CO2排出量 (kg-CO2/売上高百万円)		92.4	58.5	○		
廃棄物削減	一般廃棄物削減	ゴミの分別を徹底	8,715	8,330	○	仕入・入荷物の段ボールが多いため 再利用・資源ごみへの仕分けをし、 可燃ごみを極力増やさない。
		梱包材の再利用				
		ゴミ袋のまとめ(70L)				
	産業廃棄物削減 マニフェスト管理手順に従って 適正に廃棄処分する		リサイクル 記録管理	689	○	原単位も前年値よりも良い結果に なった。無駄の無い印刷・使用を心 掛ける。
	紙使用量削減	社内文書の電子化	104,175	95,255	○	
		FAXを強力減らし メールを多用する	印刷 カウンター数	印刷 カウンター数		
		裏紙の再利用				
水使用量削減	使用後の蛇口確認	59.8	55.5	○	前年と同じ数字の為、限界値に達したと思われる。これからも必要以上に増加しないよう気を付ける。	
	定期的な漏水調査	m ³	m ³			
化学物質使用量削減	適正な量の使用	7.6	7.6	○	今後も適切な使用・管理を継続する。	
	使用量の記録管理	kg	kg			
グリーン購入	文具・備品等 エコマーク商品購入	229.4	545.9	○	現状維持	
製品及びサービス	通信資材販売高の拡大	45,000	55,214	○	クレーム数が前年よりも大幅に増えてしまった。クレームによる再配達など、化石燃料の数字に影響が出る事から、これからも出荷前の検査は徹底するよう努める。	
	出荷ミス・クレームの撲滅	年間20件以下	23	×		

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の経 並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次の通りである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ)	○
騒音・振動規制法	倉庫内での作業(鋼材の穴開け、切断)	○
消防法(危険物)	エコクリーナー、ラッカースプレー	○
フロン排出抑制法	業務用空調機(定期点検)	○

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反・訴訟はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

外部からの苦情もこの活動期間にありませんでした。

8. 代表者により全体評価と見直しの結果

地球規模の環境変化に対してどのように企業活動をすべきか毎月毎の総合会議によって社員の意識の高まりを強く感じるようになり、その結果製品製作におけるロスの軽減及びミスの劇的な軽減に依り客先の信頼も高まり、公共工事や民間の大きなプロジェクトに参入することが可能と成り環境製品の販売の安定にも繋がり、以前より目標であった、各先の多種、多様化に成功しつつあります。

この良い状況を促進するため、新社屋を購入し省エネの設備を導入し社員が働きやすい環境を整え、又トライネットの会社としての継続性も考え、組織としてのセクション化、並びに若い人材の獲得に依る若返りを図りつつ成長していくことに期待しています。

9. 次年度の取り組み

次年度に関しては社会インフラ向けの省力化製品の開発及び販売の拡大を進め、通信キャリア向け製品と同じくらいの比率に高めていき、通信をベースとしたスマートシティの達成に貢献したい。その事業がひいてはカーボンニュートラルの達成を可能とする道筋と成り、具体的にはエコカーの導入、分別の徹底によるリサイクル等の推進、製品作成の際の端材のリユース、貧困、難民の救済のための寄付等、SDGsへの項目の身近なところからの一歩としたい。